

淀川流域委ウォッチャーズNo.4(050517版)「テーマ別部会に思う」

日曜開催のテーマ別部会、二部会連続ということもあり、委員長、副委員長も顔をそろえ、他部会出席の委員もあり、まずはめでたい。ただ、日曜開催というのに、空席が目立つ傍聴席は寂しい限りです。

実は、住民参加部会に参加するのは初めてなんだけど、何で住民参加部会をやりたがる委員が多いのか、よくわからない。「そこで熱心に議論するのは自由だけど、この空席を何とかしてよ！」と思う。

第二期流域委員会が始まって三ヶ月が過ぎたわけだけど、傍聴席に座るようになって持った危機感の理由が、だんだんわかってきました。「私が単に、傍聴席の新参者だから？」と思ったけど、そうじゃない。傍聴者の空気に、第一期の流域委員会に寄せられていたような期待感や信頼感がなくなった。今は住民団体を代表した人が、流域委員会の方向を監視に来ているだけみたい。まるまる淀川水系流域委員会が期待されてたんじゃなくて、長年住民サイドで行政とぶつかってこられた先生方が委員だったからこそ、みんな「今までの御用委員会とは、ちがうことをやってくれる」と期待してくれてたんだ。「流域委員会にいらからって、自分が信用されてると思うなんて、思い上がってたな」と反省。

第二期の流域委員会の実績は、今のメンバーで築いてもらうしかない。第一期の流域委員会への期待が、今もあるとは思わないでほしい。まだ第二期の委員会は、環境について、治水について、利水について、ダムについて、まだ何も言っていない。それをせずに、住民参加を語るのは、あまり意味がないと思う。だって、私が自分の運動とのかかわりの興味だけで流域委員会を傍聴しているなら「何をするつもりか、まったくわからん」と思ったら、黙って傍聴しなくなるもの。そうできたら、何ぼか楽か。流域委員会がどうな

ってもいいとは思えないから、嫌がられても、きついこと言わないではいられなくなる。もっと、危機感持つてよ！がんばってよ！住民参加どころか、見放されるよ！傍聴席からは、そう見られていることを自覚してほしい。二年の任期のうち、もう三ヶ月も過ぎてしまった。もういいかげん第二期流域委員会は何をするのか、示してほしい。みんな、それを待ってるんですよ。

利水部会になると、少し傍聴者も増えた。けれど、利水の現状認識に終わった感じ。勉強会したんじゃないの？それぐらいなら、傍聴者の方が知ってるよ。水需要管理への道は遠い。農業水利に強い部会長に決まったんだから、今度こそ、農業用水に踏みこんで水融通を進めてほしいです。

先日、新規の委員の方とゆっくり話す機会がありました。「発言ができない」とまじめに悩んでおられて「プレッシャーかけちゃったな」と申し訳なかったです。もちろん、どんどんお考えを明らかにしてほしい。でも、こういう場に慣れないと発言のタイミングが難しいのもよくわかる。私も他部会に出席したとき「私の意見なんて」と思うのを「せっかく来たんだから、発言して」と他の委員の方に声をかけていただいて、勇気をいただいた。発言しやすいように、声をかける思いやり、発言をうながす進行をお願いしたいものです。

くり返すけど「淀川流域委ウォッチャーズ・クラブ」は、個人的な意見の違いを超えて、傍聴席から「淀川水系流域委員会」が住民により開かれた委員会になるよう応援するため、結成しました。ニュースの発行、委員会でのアンケートなどをやっていきます。意見のある方、ぜひ聞かせてね。連絡・発行などは、当面、細川ゆう子が担当します

流域委員会裏話 [3] 飲みニケーションその1

流域委員会の飲みニケーションについては、エピソードはいっぱいあるけど、今日は少しつらい話を。

猪名川部会は、ずっと「低迷している」と汚名を着続けたけど、最初からそうではなかったのです。地域の特性に詳しい委員も専門家の先生も一緒に「猪名川モデルを作ろう」と燃えていたのです。猪名川部会では出席者の都合で次の部会開催日が変更になることが多く出席していないとますます出席しにくくなり、専門の先生方がほとんど来られなくなっていました。

さらに、提言に向けて、ダムの審議の方法が運営会議で二転三転し、委員らが「自分達に審議させないつもりか」と不信感を募らせたのです。部会長は、会議後に「話さないか」と熱心に声をかけてくださいました

が、時すでに遅く、猪名川部会の委員はばらばらになってしまったのです。ダムワーキングにでてみると、それだけ、ダムについては状況に応じて対応が変わらざるを得なかったことがわかりました。部会長に申し訳なかったと心残りです。

流域委員会は公開なので、河川管理者は水面下で努力してくれていることは話せません。それを理解している委員も、委員会では話せません。信頼関係を失わないために、流域委員会には飲みニケーションが欠かせないのです。飲みたくなかったら、ウーロン茶をすすりながらも OK ですから、できるだけ参加してください。慣れたら、癖になります。(お酒入らないと盛り上げられないなんて、男の人ってめんどくさいね。)